

Hitachi Koki

取扱説明書

保証書付

形 名

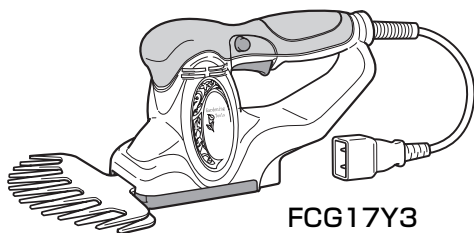
FCG 10Y3
FCG 17Y3

日立園芸バリカン

このたびは日立園芸バリカンをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



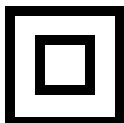
FCG17Y3

用 途

● 芝生や庭樹の刈込み

- ・芝生の刈込み
- ・壁ぎわや縁石まわりの刈込み
- ・庭樹の新芽の刈込み

二重絶縁



電動工具の安全上のご注意	1
園芸バリカンの使用上のご注意	4
二重絶縁について	5
各部のなまえ	6

はじめに

ご使用前の準備	6
ご使用前の点検	7
ブレードカバーの取りはずし・取付け	8
芝生や庭樹を刈込む	9




使いかた


点検・お手入れする	11
ブレードの交換	12
別売部品の紹介	13
故障かな…というときは	13
仕様	13
アフターサービスについて	14


その他


HITACHI


警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の修理の窓口へ依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

警告

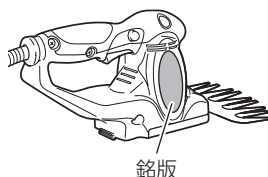
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。**
- 屋外で継ぎ(延長)コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の修理窓口にて修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の修理窓口にて修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機(株)の修理窓口にお申しつけください。
- ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

園芸バリカンの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、園芸バリカンとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 雨の中での作業や雨あがり直後のぬれた枝の刈込みはしないでください。また、雨が降っているとき屋外に放置したり、本体がぬれている状態では決して使用しないでください。
 - 感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中、コードを切断しないよう注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 感電やけがの原因になります。
- ③ ぬれた手で、さし込みプラグを抜きさししないでください。
 - 感電やけがの原因になります。
- ④ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、本体を両手で確実に保持してください。
 - 両手で確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑥ 使用中は、ブレードに手など身体を近づけないでください。
 - ブレードに触れ、けがの原因になります。
- ⑦ ブレードや付属品が確実に取付いていることを確認してください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口に依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



注意

- ① ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
- ② 針金や鉄板などを切らないでください。
 - 硬いものを切ると故障、けがの原因になります。
- ③ 動作中のブレードで、コードを切断しないよう注意してください。
 - 感電の恐れがあります。
- ④ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - 本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。

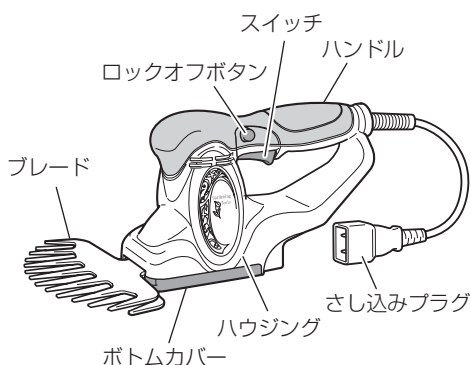
二重絶縁について

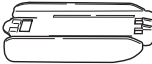


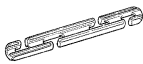

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの園芸バリカンは二重絶縁をしており、銘板に回 マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違っ組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にご用命ください。

各部のなまえ



付属品	
アジャスタ 1個 	ブレードケース 1個 
継ぎコード(10m) 1本 	プラグクリップ 1個 
コードガイド 1個 	

ご使用前の準備

●作業前に庭を整理し、足場を良くします

- 芝生の刈込みをする前に、小石や枝などの異物をよく取り除いてください。
- 庭樹の刈込みをする前に、古い枝や太い枝はあらかじめせん定バサミで切ってください。
- 高い庭樹にはしっかりしたはしごや脚立を用意してください。

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

- 万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠ 警告

- 延長コードは損傷のないものを用意してください。

付属品の継ぎコードで足りない場合は、電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短い延長コードをご使用ください。右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
0.75	20
1.25	30
2	50

ご使用前の点検



- 手順①、②については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめます

- スイッチが入っているの知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- スイッチはロックオフボタンを押しながら引くと入り、離すと切れます。

2 電源を確かめます

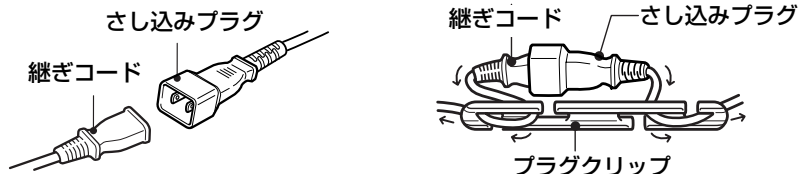
- お求めの園芸バリカンは 100 V用です。200 V電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。園芸バリカンの損傷をまねくだけでなく危険です。

3 コンセントを確かめます

- コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

4 さし込みプラグと継ぎコードの接続、プラググリップの取り付けを確かめます

- 使用中にさし込みプラグから継ぎコードが抜けるのをプラグクリップで防止します。



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

ブレードカバーの取りはずし・取付け

⚠ 警告

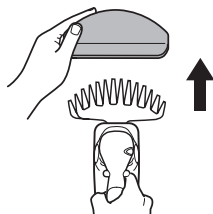
- ブレードカバーの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機をご使用にならないときは、刃物によるケガ防止のため必ずブレードカバーでブレードをおおってください。

● ブレードカバーの取りはずし

1

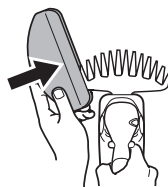
ブレードカバーは右図のように前方にゆっくりはずします



● ブレードカバーの取付け

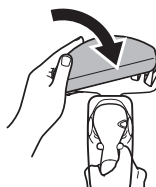
1

ブレードの刃横にブレードカバーをあてがい、ゆっくりと中に差し入れます



2

刃の先端がブレードカバーに確実に入っている事を確認しながら、まわすようにしてブレード全体をおおいます





芝生や庭樹を刈込む

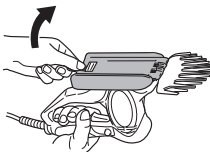
芝生を刈込みます。
庭樹の新芽を刈込みます。

警告

- 万一の事故を防止するため、①、②は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちに指をはなしてスイッチを切り、点検・修理に出してください。

1 アジャスタを取りはずします

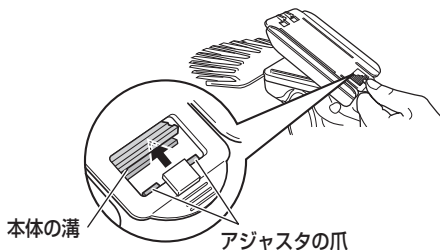
- 下の「刈込み高さの目安」を参考にアジャスタを付け替えます。



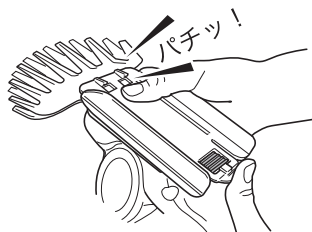
2 刈込み高さを調整します

- アジャスタを園芸バリカンの底部に取付けて、刈込み高さを変えます。

- ① 本体を裏返して、アジャスタの爪を本体の溝に合わせます。



- ② アジャスタ先端部を押して、アジャスタを本体にはめ込みます。(パチッと音がします)

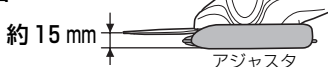


● 刈込み高さの目安

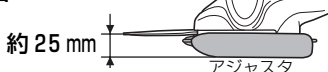
- アジャスタを取付けない場合



- アジャスタを右図の向きに取付けた場合



- アジャスタを右図の向きに取付けた場合



警告

- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
急に動き出し、けがの原因になります。

3

電源プラグをコンセントにさしこみます

警告

- ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。あやまってスイッチを引いたとき、不意に動き出しけがの原因になります。

注意

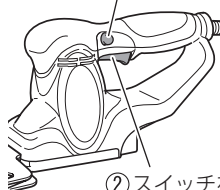
- 刈込み作業中に、小石や枝をかみ込んだときはただちにスイッチを切り、電源からコードを抜いてください。ロックさせたままにすると故障の原因になります。また、かみ込んだ小石はペンチなどでゆっくりと取り除いてください。けがの原因になりますので、絶対に手や指を刃に近づけないでください。

●ロックオフボタンについて

本機ロックオフボタンを押してスイッチを引かないとスイッチが入らなくなっています。

ロックオフボタンは左右どちらからでも押すことができます。ロックオフボタンはスイッチを引くことで、固定されたスイッチを離すと自動的に戻り、スイッチが不用意に入らなくなります。

① ロックオフボタンを押す



② スイッチを引く

●長くのびた芝生のとき

長くのびた芝生を一回で短く刈込むと、ブレードに負担が大きくかかり、切れ味が悪くなります。長くのびた芝生は、最初に上から1/3程度刈込み、次に仕上げの高さに刈りそろえると刃先を傷めず、きれいに刈れます。

●壁ぎわや縁石まわりを刈込むとき

縁石などのキワ刈りでは、ブレードの跳ね返りを防ぐために、刃先を約60°傾け、縁石に沿って刈込んでください。刈り残しのない作業ができます。



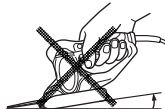
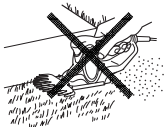
●庭樹の新芽を刈込むとき

庭樹の新芽を刈込む時はあらかじめ、太い枝や堅い枝は、せん定バサミなどで深めに切っておいてください。



注

- 刃横を縁石に当てないでください。機構部の寿命を短くするなど、故障の原因になります。
- 刃先を下げて使用しないでください。砂、石、土などをかみ込むと刃先を傷め、切れ味が落ちます。



4

スイッチを入れ、刈込みます

(右上ロックオフボタンについて参照)

- ロックオフボタンを押してスイッチを引きます。
- 本体を芝生の上に置き、すべらせるようにして前進させます。



点検・お手入れする

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- めれた手で電源プラグを抜きさししないでください。

● ブレードの掃除

- ブレードの両面、ブレードとハウジングの間に付着した芝くずやどろをブラシなどで落とします。



● ブレードの刃先の手入れ

- ブレードが傷ついたときは、ヤスリなどで刃先を修正してください。



● ブレードへの注油

- 刈込みにより、刃先についた樹液などは、機械油（または自転車油など）を注油し、布でふきとってください。また、使用后やシーズンオフにはブレードがさびないように、必ず機械油を注油してブレードカバーを取付けて保管してください。

● 取付けねじの点検

- 時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

● 本体はきれいに

- 石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

注 保管場所について

次の場所には保管しないでください

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。

ブレードの交換

ブレードは消耗品です。ブレード組（別売部品）のご購入は、お買い求めの販売店または日立工機の修理窓口にご用命ください。

切れ味が落ちたときは新しいブレードに交換されることをお勧めします。

⚠ 警告

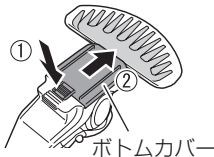
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ブレードの交換の際には、必ず手袋およびブレードカバーを付け、手や顔などに直接刃物が触れないようにしてください。

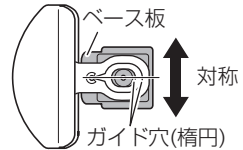
1 ボトムカバーを取りはずします

- 本体を裏返してボトムカバーの凹部を押しながら、前方にスライドさせ上に持ち上げブレードを取りはずします。
- ハウジング内に入った芝くずやごみを取り除きます。



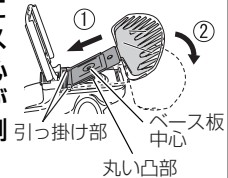
3 新しいブレードの取付け準備をします

- ブレードとベース板を動かして、ベース板に対してガイド穴（楕円）を対称に合わせます。

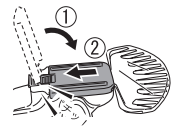


4 新しいブレードを取付けます

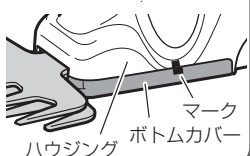
- 裏返したブレードのベース板を、本体の引っ掛け部にさし込み、ベース板の中心穴と偏心カムの丸い凸部が合うようにして倒します。



- ボトムカバーを倒し、「パチッ！」と音がするまでスライドさせます。

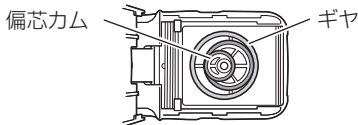


- ハウジングとボトムカバーのマークが一致していることを確認します。



- 注** ● ブレードの交換の際、ギヤやカムなどについているグリスをふき取らないでください。グリスは運転を円滑にするためのものです。

2 ギヤを手で回して偏心カムを図の位置にします



その他

別売部品の紹介

日立電動工具販売店でお求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

<p>ブレード組 FCG 10Y3 用</p> 	<p>ブレード組 FCG 17Y3 用</p> 
---	---

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
動かない。	・電源プラグがさし込まれていない。	・電源プラグをコンセントにさし込んでください。
	・継ぎコードがはずれている。	・継ぎコードとさし込みプラグを接続してください。(→P7 参照)
刈込みが上手にできない。	・ブレードの刃が古くなっている。	・新しいブレードに交換してください。(→P12参照)

仕 様

形 名	FCG 10Y3	FCG 17Y3
使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V	
刃物寸法(刈込み幅)	100 mm	170 mm
無負荷ストローク数	1250 min ⁻¹ { 1250 回/分 }	
全 負 荷 電 流	0.9 A	
消 費 電 力	80 W	
モ ー タ ー	永久磁石励磁式直流モーター	
本 体 寸 法	長さ 266 × 幅 102 × 高さ 125 mm	長さ 280 × 幅 170 × 高さ 125 mm
質 量	0.7 kg	0.8 kg
コ ー ド	2 心キャブタイヤコード 0.3 m	

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

植木バリカンについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようになっております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、山梨、新潟、 長野、静岡県富士川以東	台 東 区	東 京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	大 阪 市	関 西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」



0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

日立園芸バリカン保証書

形名	FCG 10Y3 FCG 17Y3	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
※お買い上げ日	平成 年 月 日	製造番号	
※お客様	お名前		
	ご住所	〒 電話()	
※販売店	住所	〒 電話()	
	店名		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 一般使用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
 - 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機(株)のご相談窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is only Japan)



〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティ A 棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)